



大江町ゼロカーボンシティ宣言

近年、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの増加を要因とする地球温暖化の進行により、世界各地において、猛暑、豪雨、台風などによる甚大な自然災害が頻発しています。こうした気候変動は、私たちの安全安心な暮らしや生命、自然や生態系に深刻な影響を及ぼしており、その対策は喫緊の課題となっています。

2015年12月に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保つとともに、1.5度に抑える努力を追求すること」という目標が掲げられました。また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、この目標を達成するには「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

2020年10月に政府は、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と表明し、これまで以上に私たち一人ひとりが地球環境に強い危機感を持ち、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を削減し、脱炭素の取組みを強化していく必要があります。

このようなことから、本町といたしましても、豊かな自然と環境を守る持続可能な地域づくりを推進していくため、町民や事業者の皆さまと一体となって、2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指すことを宣言します。

令和5年3月14日

大江町長 松田 清隆